

茎数過剰で栄養不足の危険！ 穂肥は確実に施用しましょう！

- ・ 草丈と葉色は目標値並みですが、茎数が過剰傾向で、今後、葉色の低下も予想されるため、穂肥を確実に施用する必要があります。
- ・ コシヒカリの出穂期は「平年並」と予想されます。

1 7月8日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月7日)

草丈 (並)	茎数 (多)	葉数 (やや早)	葉色 (並)
--------	--------	----------	--------

区分	本年値	目標値 (カシダ [®] -生育目標比・差)	前年値 (前年値比・差)
草丈 (cm)	61	63 (97%)	63 (97%)
茎数 (本/m ²)	574	480 (120%)	569 (101%)
葉数 (葉)	11.4	11.0 (+0.4)	10.8 (+0.6)
葉色	SPAD	35.3	36.0 (-0.7)
	葉色板	3.6	3.9 (-0.3)

2 コシヒカリの管理ポイント

(1) 分施肥体系の穂肥

- ア 有機入り肥料での穂肥は2回に分けて行ない、1回目を「出穂期20日前」に、2回目を「出穂期12～10日前」に施用しましょう。
- イ 1回目の穂肥施用時期に、カラスケールで3.8 (SPAD値で36) を明らかに超える場合は、1回目の穂肥は控えめに施用しましょう。
- ウ 2回目の穂肥は必ず施用してください。

(2) 全量基肥肥料(一発肥料)の追加施肥

出穂期10日前に葉色が著しく低下している場合(カラスケール3.3以下、SPAD値30以下)は、「出穂期10日前頃から5日前頃」に有機100%の肥料を施用しましょう。

※ 詳しくは、佐渡米カレンダー(7月)を参照してください。